

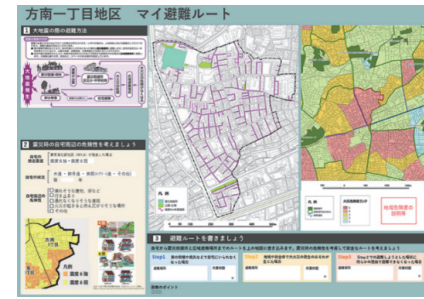
## マイ避難ルート（マイタイムライン）<sup>\*</sup>作成イベントを開催しました

令和5年11月12日のオープンハウス（パネル展）と同時開催で、地震等の災害時の避難ルートや行動計画を考えるマイ避難ルート（マイタイムライン）の作成イベントを行い、16名の参加がありました。

突然起こる地震に対しては、日頃の備えや災害時に自分自身の行動をあらかじめ決めておくことが大切です。区のホームページに、当日使用した方南一丁目地区オリジナルマイ避難ルートの用紙とその記載例を掲載していますのでぜひご活用いただき、自宅から避難所までの避難ルートや地震時の行動計画について考えてみてはいかがでしょうか。



当日のイベントの様子



マイ避難ルート用紙

※ 災害時に自分自身がとるべき行動をあらかじめ決めておく、個人の防災行動計画のこと

用紙は区のホームページでダウンロードできます

杉並区ホームページ  
方南一丁目地区のまちづくり  
二次元コード



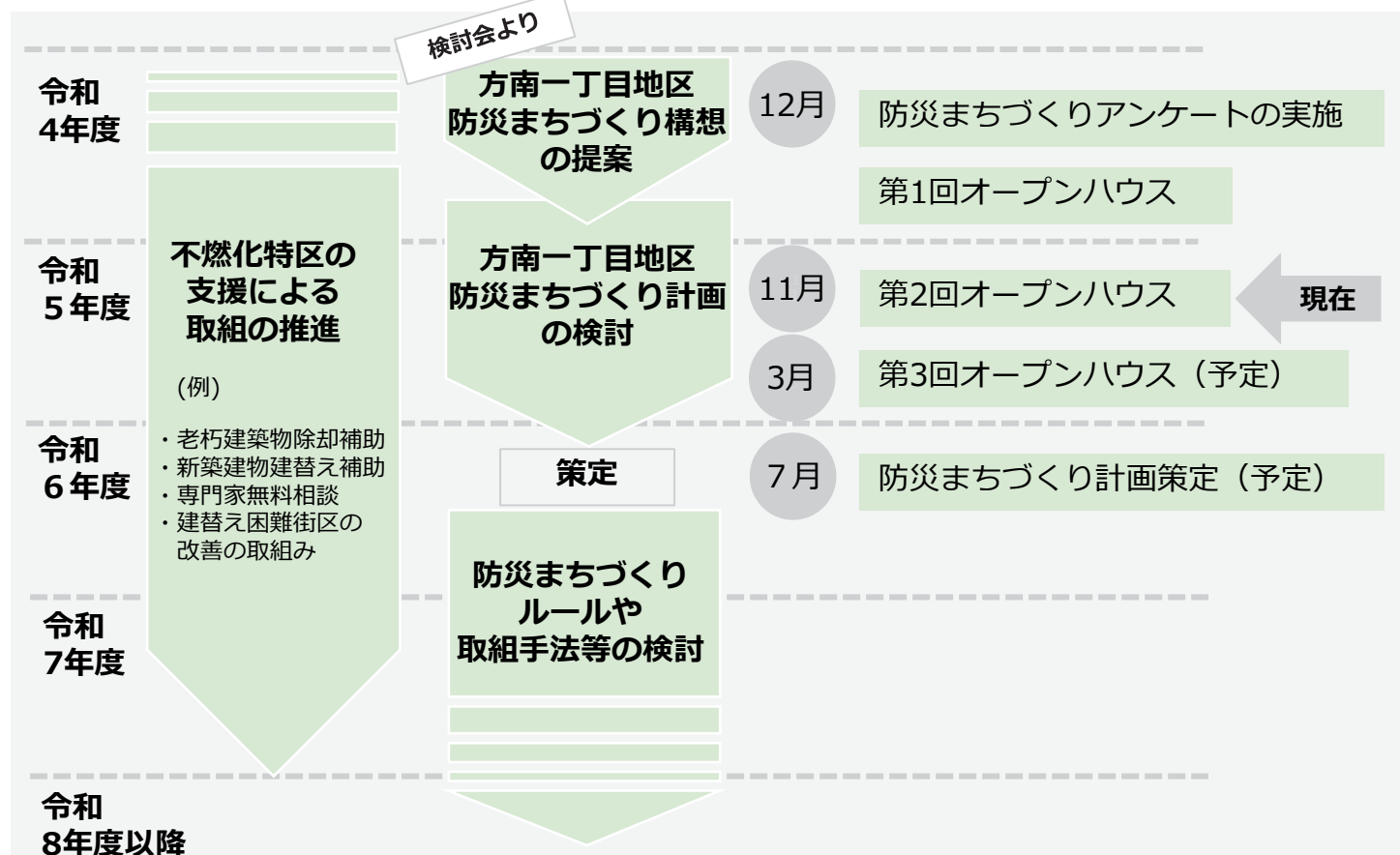
方南一丁目のまちづくり



## スケジュール

方南一丁目地区防災まちづくり計画(案)の内容については、次回のオープンハウス(パネル展)やホームページにて公開予定です。詳細は方南一丁目地区防災まちづくり通信第16号にてお知らせします。

令和6年度に方南一丁目地区防災まちづくり計画の策定後、建物の建て方などのルールや取組手法等の検討を行います。既に行っている不燃化特区の支援による取組は継続して推進します。



【お問い合わせ先】 杉並区都市整備部 市街地整備課 不燃化推進係

電話：03-3312-2111（内線）3365・3366

方南一丁目地区

# 防災まちづくり通信



第15号

発行日：令和5年12月 発行：杉並区都市整備部市街地整備課不燃化推進係

## 防災まちづくり計画（たたき台）アンケートへのご協力ありがとうございました



日頃より、杉並区のまちづくりにご理解とご協力をいただきありがとうございます。

区では方南一丁目地区防災まちづくりの目標や取組方針を示した防災まちづくり計画(たたき台) (以下、「たたき台」という。)を作成しました。たたき台の概要を防災まちづくり通信第14号で掲載し、地区の現況・課題や防災まちづくりの取組方針について、皆様のご意見を伺うアンケートを行いました。ご回答いただきありがとうございました。

## オープンハウス（パネル展）を開催しました

令和5年11月12～13日の2日間、方南小学校と方南図書館で、たたき台の内容についてオープンハウスを開催し103名の方にご来場いただきました。当日は展示内容を見ながらご意見を伺いつつ、防災まちづくり通信第14号のアンケートに回答していただきました。ご来場いただきありがとうございました。



方南小学校でのオープンハウスの様子(11/12)



方南図書館でのオープンハウスの様子(11/13)

アンケートの結果やいただいたご意見については2～3ページをご覧ください。



## 区のホームページでご覧いただけます

アンケート結果の詳細や、オープンハウスで展示したパネルについては区のホームページでご覧いただけます。



杉並区ホームページ  
方南一丁目地区のまちづくり  
二次元コード

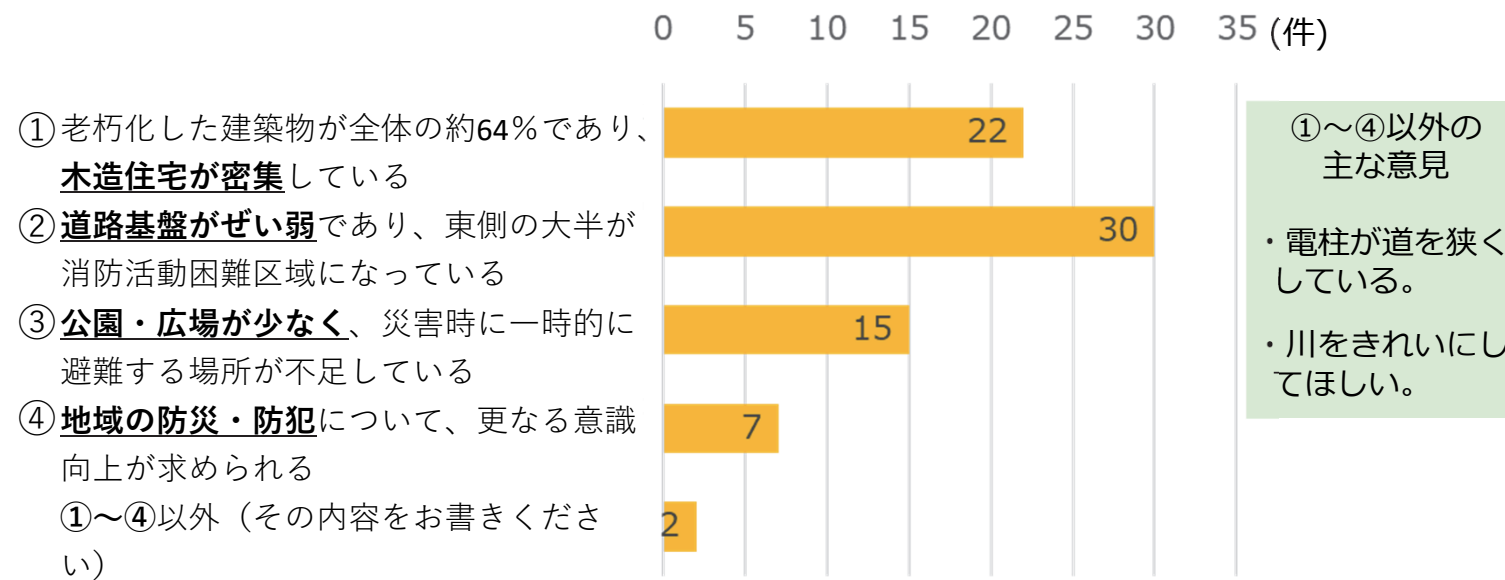
方南一丁目のまちづくり



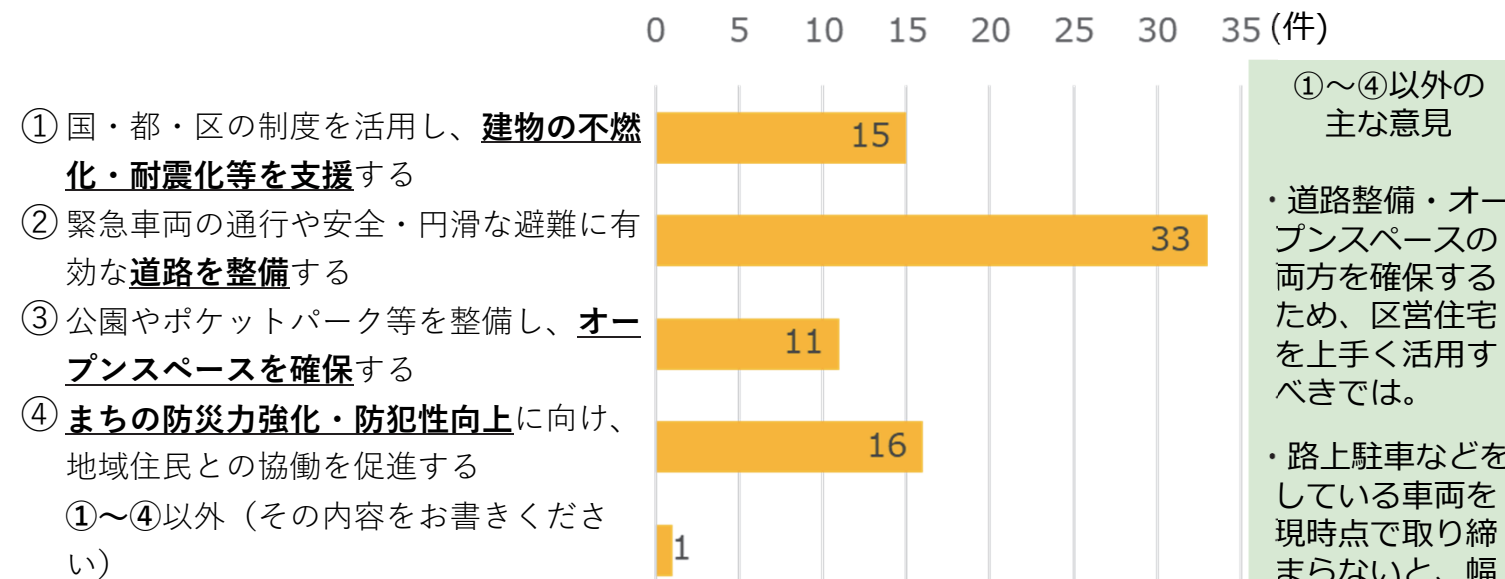
## 方南一丁目地区防災まちづくり計画（たたき台） に関するアンケート結果

アンケートには、オープンハウスでの回答42件、郵送回答22件、WEB回答12件、合わせて76件の回答がありました。

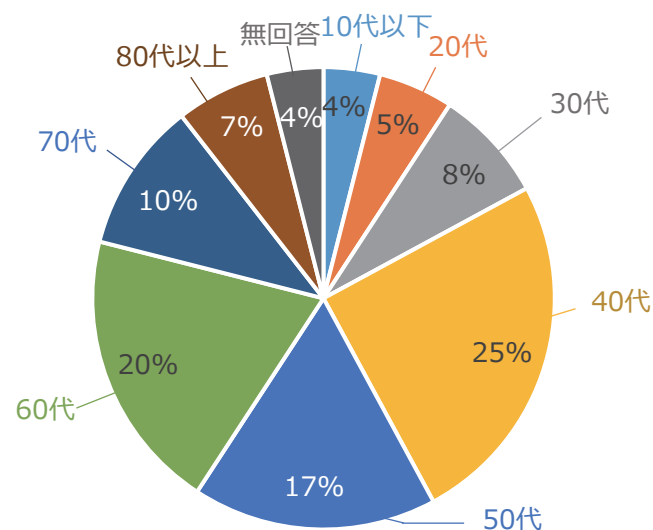
### 問1 地区の現況・課題のなかで最も課題と感ずるものはどれですか。



### 問2 防災まちづくりの取組方針のなかで、優先的に解決した方がよいと感じる取組はどれですか。



### 問3 年齢を教えてください。



②

今回のオープンハウスでは、会場にて直接子育て世代の意見も多くいただきました。

アンケートの設問については、防災まちづくり通信第14号をご覧ください。防災まちづくり通信のバックナンバーは区のホームページでご覧になれます。

## アンケートやオープンハウスでいただいた主な意見

### 狭い道路や行き止まりが多く避難できるか心配 //

地震が起きたら道が塞がって方南小まで逃げられないのではないかと心配です。

緊急車両のみならず、清掃車や宅配車両が通行、作業のしやすいよう整備を推し進めてください。

散歩していて行き止まりに入ってしまう引き返すこともあるので、災害の時は確かに危ないと思います。

### 幅員6m以上の道路拡幅整備について //

拡幅はどのように行うのでしょうか。道路を拡幅するのは大変だと思います。

道路拡幅時に道路斜線などを緩和できる、まちづくりのルールがあると取組が進むのではないかと思います。

現状の道路は、自転車で走っていると怖いと感じるので、もう少し広い道路にしたほうが良いと思います。

### 子ども達やお年寄りの交通の安全確保が必要 //

幅員6m以上の道路整備路線はお年寄りが多く歩いています。時間規制などを合わせて行わないと中野からの通り抜けが心配です。

道路を横断するとき全体的に子が止まって手をあげられるわけではないので、道路が広がると安全面はどうなるのか心配です。

### 公園や広場の整備を進めてほしい //

子どもが遊べる場所がないので、大きめの公園があると良いと思います。

空地情報など地域住民の方が知っていることが多いので、町会長へ共有すれば、町会内で話し合う流れになるとと思います。

区営住宅などを種地にして、移転先を用意するなどしないと、公園用地を買うのは難しいのではないのでしょうか。

### 空き家が増えている //

持ち主が区内にいない古い空き家が増えています。区の助成制度の周知をしたほうが良いと思います。

空き家の利活用ができると良いと思います。

### 共同化建替えも良いのでは? //

土地の細分化が進んでいるのでマンションになる方が防災上は良いのではないかと思います。

### 突出電柱の移設を //

道路のセットバックに合わせて電柱を移設してほしいです。

### 浸水リスクも心配 //

神田川取水施設（地下調節池）の整備後も、環七通りの信号周辺で浸水していたので、水害も心配です。

豪雨の時に丘の下では水害に見舞われる家があるのではないかと気に留めています。

## 貴重なご意見ありがとうございました

アンケート結果からは、狭い道路や行き止まり道路の多さを不安に感じる意見や、6m以上の道路の拡幅整備の進め方、交通ルールの必要性に関する意見などがあり、道路整備への関心が高いことがわかりました。また、公園用地確保のための地域との情報共有の必要性など、今後の進め方についての意見もありました。

いただいたご意見やアンケート結果を踏まえて、方南一丁目地区防災まちづくり計画の策定に向けて、取組を進めてまいります。

③